

まちかど・ズーム IN!

市民の健康意識の高揚をめざして さわやかフェスティバル開催

7月13日、ホワイトキューブで「さわやかフェスティバル」が開かれ、約1,600人の市民が参加しました。

会場には、体力測定や健康食、歯や薬の各種相談や健診などの健康づくりコーナー、ボランティア団体の活動紹介や展示即売コーナーなどが、所狭しと並びました。

また、NHKの連続ドラマ「すずらん」などで女性の一生や活躍にスポットを当て、高い評価を受けている脚本家清水有生さんが、ドラマ制作のテーマや苦労話などを裏話を交えて講演を行い、聴衆を魅了しました。



体験を通じて深まる交流 グリーンリース使節団が来白



7月5日から12日までの8日間、ハーストビル市から「グリーンリース使節団」として中学生と引率者の11人が白石に滞在しました。

滞在中は、中学生の家庭にホームステイをしながら、中学校への体験入学や市内の名所・施設の見学や伝統文化の体験などを通じて市民との交流を深めました。

11日には、うーめん作りに挑戦し、慣れない手つきながらも、白石の地場産品をじかに体験していました。

「ともにはぐくみ生きる」をテーマに 第16回手話劇「高瀬舟」

手話の普及と、耳の不自由な方を始めとする障害者への理解と社会参加を目的に、7月14日、恒例の手話劇（白石しらゆり会手話サークル主催）が中央公民館で開かれました。



今回は、森嶋外の名作「高瀬舟」を耳の不自由な方二人が主役を演じて、人間の命とは何かという難しいテーマに挑みました。

また、障害者施設の入所者らによる歌や太鼓、踊りなどが披露され、会場から温かい拍手や声援が送られていました。

親子そろって夢中になりました あいあい人形劇

子育て支援センター「あいあい」の事業の一環として、7月13日、中央公民館で人形劇の鑑賞会が開かれ、就学前の子どもとその親など約100人が鑑賞しました。

人形劇は、神奈川県鎌倉市を拠点に全国で活動している人形劇団「ちろりん」の皆さんによる「こぶとりじいさん」で、おじいさんや天狗など、登場した人形の愉快的せりふや軽妙な動きに、親子そろって食い入るように見入っていました。



大きく育つと
願いを込めて

南蔵王山ろくにブナなどを植林

梅雨の晴れ間の6月16日、「蔵王のブナと水を守る会」が中心となり、昨年会と市が共同で取得した南蔵王山ろくの荒地約13㍍のうち1.5㍍に、ブナやミズナラ、ヤマザクラなど15種類約2,000本を植林しました。

植林には、会員のほか、緑多いふるさとにと今年の成人式で募金を行い、会に寄付した新成人たちをはじめ市内外の約180名が参加しました。

植林後は、森と虫・小動物との関係などについての講演があり、参加者は、森に対する理解を深めました。

この植林は、今後も7か年計画で進められる予定です。

楽しく軽やかに水中運動 身体障害者水中教室



体の不自由な方の機能回復や体力の維持増進を目的として、宮城県障害者社会参加推進センター主催の身体障害者水中教室が7月1日、2日の両日、スパッシュランドしろいしの50㍍プールで開かれました。

約30名の参加者は、インストラクターの指導のもと、水中歩行や体操から始まって、ばた足に潜水、水泳実技と、楽しく軽やかに体を動かしていました。